

日本維新の会 衆議院支部長 (東京都第6選挙区)

河村建一

公式SNSはコチラ▶



現・山口大学工学部客員准教授
(リモートセンシング・宇宙政策)



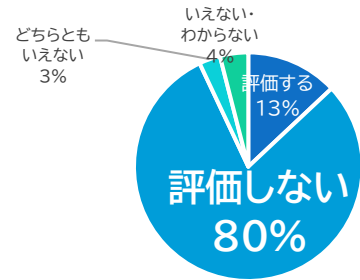
言うだけで終わらせない、実行する政治

政治家の特権を廃止して、民間企業ベースの公明正大な制度へ

国民の税金を預かる立場の政府自民党が、組織的に多額の裏金作りをしていた政治資金問題。直近の世論調査を見ても納得できるものとは言えないでしょう。我々は『民間企業ベース』をキーワードに、多くの国民が不満に思っている政治家の特権の廃止を提案しています。他の政党に先駆け、自らにおいて実行できる改革は法整備が実現していなくとも内規を定めて既に実行しています。

失われた政治への信頼を取り戻すためには、政治家自らが先導して「**実行する**」にとしかありません。「世間の常識を政治家の常識に」と国民の目線と政治の目線を合わせて、**金がものを言う政治を一緒に終わらせましょう。**

政治資金問題の首相の対応



Q. あなたは政治資金問題での関係議員の処分や法整備といった岸田首相の一連の対応を評価しますか、しませんか: 日本経済新聞・テレビ東京 4月世論調査 (実施日: 2024年4月29日~30日)



お金にまつわる 特権の全廃止

- 政治家の資金パーティは民間と同等レベルに規制と監視を強化。大口購入の規制と第三者機関による会計監査を義務化 →**維新は実行中!**
- いわゆる旧文通費(月100万円)は全額使途公開、残金は国庫返納 →**維新は実行中!**
- 政治資金の不正会計は政治家本人の責任とし、秘書などを身代わりにできない仕組みを構築 →**維新は実行中!**
- 政治団体を親族が引き継ぐことは禁止 →**維新は実行中!**
- 領収書に紐づかないブラックボックスとなっている政治活動費については廃止し、勘定科目ごとの使途公開と外部監査で透明性を高める →**維新は実行中!**

政治活動を 本来の姿に

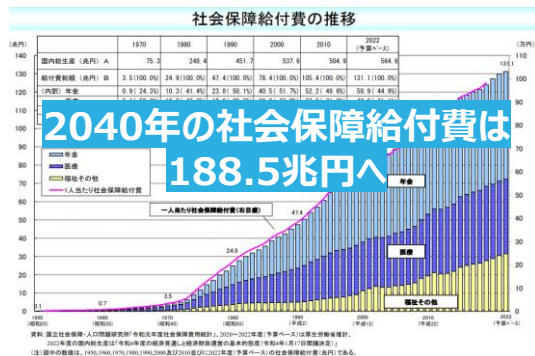
- 企業・団体による献金やパーティー券の購入は禁止とし、政治家と大企業の癒着を防止 →**維新は実行中!**
- 政治本来の形である、広く民意を集める活動に沿った個人献金を促進する寄付税制を新設

日本の政治の 近代化

- 前時代的でアナログな議会のあり方を改革し、テレワークやオンライン議会など、誰もが参画しやすい政治環境を実現
- 非合理的な選挙制度を改革し、大きなお金をかけずに選挙ができる仕組みを法制化することで、金がものを言う政治を終わりに

1 持続可能な社会保障制度への抜本的な見直し

国の予算の半分以上が、借金返済と社会保障費に使われ、今後さらに人口減少は進み、高齢化率も上昇する現実には私たちは向き合わなければなりません。**一方的に増え続ける現役世代の負担**に歯止めをかけ、**医療費負担改革**などを含めてゼロベースで見直し、目の前にある危機を決して先送りにせず、国民が納得する形での制度の再構築に取り組みます。



2 今の与党にできない、本当のこどものための政治



子どもは国の宝です。日本の子どもの数は急激に減少しており、昨年の出生数は過去最低の80万人を割り込みました。こうした危機的状况により、雇用、医療、社会保険などの制度や地域社会、産業の維持が難しくなるだけでなく、日本の文化、伝統、言語が途絶えてしまう可能性すらあります。**子育て世帯の可処分所得を増やしていく**ために、「還すなら、取るな」の考え方で、現役世代の負担を軽減しなければなりません。また、日本人として生まれた子どもには、一律に平等な国の支援を受けることが出来る仕組みにするべきと考えます。国の責任において、教育機会を公平に与える**教育無償化の実現**と、**公教育の立て直し**に取り組みます。

3 憲法の人権規定の堅持と、時代に合った統治規定への改正

日本国憲法は、世界の現行憲法では、**改正されずに存続した期間が最も長く、もはや時代に合ったもの**と言えません。憲法の人権規定は普遍的なものとして堅持しながらも、時代と共に変わってきた多様化した個人の幸福の追求と、伝統文化を共存させていくための憲法のあり方の議論を積み重ね、統治規定を時代に合ったものに変えていくべきと考えています。

日本維新の会は、**教育の無償化、統治機構改革、憲法裁判所の設置、自衛のための実力組織としての自衛隊の明記、緊急事態条項の制定**を掲げています。この国の最高権力者は国民の皆様であり、憲法改正は国民の権利です。その是非は国民投票によって最終的に判断されるものであり、政治はそのサポート役にすぎません。

河村建一 プロフィール

1976年(昭和51年)山口県萩市生まれ / 現・山口大学工学部客員准教授(リモートセンシング・宇宙政策) / 前衆議院議員河村建夫の政策担当秘書として23年、内閣官房長官秘書官、文部科学大臣秘書官を務める傍ら、慶應大学SFC研究所上席所員(宇宙法)、東京大学大学院航空宇宙工学科研究員として政策研究をし、宇宙基本法(2008年成立)に事務方責任者として携わる。宇宙、子ども、福祉の関連法・政策整備を多数経験。2023年7月、日本維新の会東京6区(世田谷区)支部長。

日本維新の会
東京都第6選挙区支部
ボランティア募集中

東京都第6選挙区支部長
河村建一

日本維新の会共同代表
吉村洋文

ボランティア登録フォームはこちらから

河村建一世田谷事務所(経堂)

ADD 〒156-0052 東京都世田谷区経堂1-26-10

TEL 03-6413-1409 FAX 03-6413-1410

Mail kawamurakenichioffice@gmail.com

経堂駅南口から農大通り商店街を直進、徒歩4分